

料の値上げを検討する必要があるのではないか。**総務部長** 東電に関しては各市同じ金額である。**市長** 電気料金の値上げ、放射能の問題等市民への不安を勘案すると議員の主張は理解できる。どのような形でできるか考えてみたい。

新海 生活保護の問題が連日新聞でとりあげられている。国分寺市は26市中生活保護受給者が最も少ないが、平均受給額、最高受給額、受給年数の長い方などの実態をお聞きしたい。

福祉保健部長 平成23年12月現在で、平均額は19万3,726円、最高額は2人世帯で46万5,700円。最長期間の受給者は昭和36年から51年間。他に昭和38年から1人、44年から1人、55年からは7人いる。

新海 問題点の多い制度である。本当に困っている人に支援が届くよう十分な審査を願いたい。

新海 小平市から国分寺駅北口に入るバス路線の新規開設を進めているが進捗状況は。

都市建設部長 現在バス停の位置（本町2丁目及び本多公民館前）について協議をしているが残りの交渉等もあり7月運行が少し遅れる。

新海 昨年職員給与の改定があったが、ラスパインデックスは改善しているのか。

総務部長 平成22年は101.5であったが、23年は100.6となり0.9ポイント減少した。

新海 大きく改善されたことは評価したい。より一層の努力を。**総務部長** 今後職員数の適正化も回り総人件費の抑制を進めていきたい。

個々人にあつた適切な支援を！



国分寺・生活者ネットワーク 高瀬 かおる

I. 障がい者施策について

①自立支援給付と介護保険制度の適用について
問 自立支援給付を利用されてきた障がいのある方が65歳になると原則介護保険法の保険給付が優先される。また、40歳～65歳未満の方で16の特定疾病によって、要介護、要支援状態が生じた場合にも介護保険サービスを利用することとなる。介護保険サービスに移行することによって生活の質を低下させることがあってはならない。当事者やご家族の意見を丁寧に聴くことは当然だが、自立支援協議会や個別事例検討会においても、自立支援給付と介護保険制度の適用関係についての考え方や個別事例など、検討していただいているかどうか。

答 必要な時に検討の機会を作っていく。

②高次脳機能障がい者への支援について

問 高次脳機能障がいは、脳卒中や交通事故などにより脳の一部分が損傷を受け、記憶障がいや注意障がいなどが起こり日常生活に大きな支障をきたすが、まだまだ知られていない。今年度、東京都の補助金で約300万円の予算がついたが、具体的にどのような支援を行うのか。

答 今年度は、支援員を1名配置し、高次脳機能障害支援拠点機関の助言を得ながら相談・支援の強化を図っていく。また、就労支援センターや就労継続支援を行っている事業所等で構成される（仮）高次脳機能障害関係機関連絡会議を7月に立ち上げる準備を進めている。

問 庁内、市民、医療機関等への広報を！

答 障害者センターとともに啓発を行う。

問 当事者・家族の会の声を聴き事業展開を。

II. 高齢者施策～ケアマネジメントの充実を

問 ケアマネジャーの役割は非常に大きい。ケアプランが本当に利用者にとって自立支援に

なっているか等細やかな事例検討が必要。また医療との連携が進められる内容の研修を組み立てるなど、保険者として支援が必要ではないか。
答 医療との連携は今後の課題として取組む。
III. 市民参加でエネルギービジョンの策定を！
答 どのように進めたらいいのか調整する。

未来を見据え 老朽化した施設の計画的対策を



公明党 木島 たかし

1・市民の期待に応える行政改革を

問 厳しい財政状況が続く中、市自らの内部努力の姿勢が問われている。事業の民間委託化等により人件費の抑制にさらに取り組むべき。

答 業務及び組織の見直しをさらに進め、サービスの質の向上もあわせて取り組む。

問 新たな財源確保（広告事業等）の推進を。

答 庁舎内壁面に広告付き案内板の設置等、積極的に財源確保に取り組む。

2・公共建築物改修計画の進め方について

問 災害時は避難所にもなる小中学校等の施設の多くで老朽化が進んでいる。計画的で無駄のない維持補修等の判断を適切に行うため、早急に台帳を一元化しマネジメント白書の作成を。

答 指摘を踏まえ施設管理方針を策定する。

問 財源となる学校施設整備基金等が不足している。計画的に積立が進むような財政運営を。

答 まず財政調整基金をしっかり確保したい。

3・道路交通対策（通学路等）について

問 国分寺街道を中心とした国3・4・11号線のアンケートでは90%以上の方が「危険」との回答だ。命を守る視点からも早期事業化を都に求めよ。

答 今年度都が調査費を計上。要望していく。

問 通学路での事故を防ぐために、再点検を実施し、より危険な箇所は対策を講じるべき。

答 今年度の学校安全連絡会を早期に開催し、関係者と対策を検討したい。

4・災害対策を着実に確立せよ

問 災害時要援護者対策は真に必要な方に支援が行き届くような取り組みを。

答 今年度から新方式で要件に該当する方に勧奨していきたい。そのために詳細を検討中だ。

問 帰宅困難者対策として、鉄道事業者との協定締結を評価。より実践的な訓練実施を。

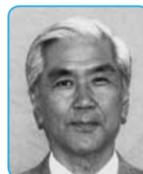
答 市と鉄道事業者の合同訓練を実施したい。

5・旧西東京警察病院の今後の土地利用

問 都に対して積極的に情報収集し、市として活用のありかたを考え、意見していくべきだ。

答 乱開発は行わない意向は確認している。市民ニーズに沿い、市に負担のない交渉を進める。

公設公営保育園6園を 1園に減らすのは無謀



無会派（社民党）釜我 健二

釜我 市は現在6園の公設公営保育園を1園に減らす計画だが、それでは民間保育園の閉園など緊急事態の際に責任ある保育が困難になる。この計画は無謀であり見直すべきだ。

部長 閉園した場合の考え方はまだまとまっていない。今後協議を進めまとめていきたい。

釜我 閉園時の対処方針もなく1園に減らす計画だけ先に作るなどありえない。全く順序を誤

った市の計画づくりであったことと確認する。

安易な可燃ごみの有料化は認められない
釜我 市は可燃ごみ有料化に対する「意見をきく会」を開く予定だが、そこで出される意見は市の方針づくりにしっかり生かされるのか。
部長 16回開く「会」での市民の意見をよくきいて、よりよい有料化の方針を固めたい。

釜我 ①市民は市民税を納めており、ごみ処理はその基本サービスの一つだ。一定量までは無料とすることを基本にすべきだ。②また可燃ごみの大部分を占める生ごみの堆肥化による大幅なごみ減量に今こそ本格的に取り組むべきだ。

部長 ①野田市、君津市などではその事例もあるので十分調査したい。②堆肥化は次期アクションプランに位置付け積極的に検討してゆく。

釜我 小金井市とのごみ共同処理の約束は行政及び議会の約束であり重いものだ。小金井市長も処理場建設が困難を極める事業であることを承知の上で当市に共同処理を提案されたはずだ。約束の誠実な履行を強く求めるべきだ。

市長 国分寺市は二枚橋にはこだわっていない。適地をさがしてほしいと言っている。行政間の約束は重い。小金井市の努力を求め続けたい。

公民館予算50%削減は見直すべきだ

釜我 市は今年度の予算編成で団体等への補助金を5～10%削減したが、なぜ5～10%なのか。

副市長 それ以上だと影響があるとの配慮だ。

釜我 なるほど、それ以上の削減では影響が大きすぎるわけだ。しかし市は公民館事業費だけは50%も削減した。そのため「公民館だより」は最少では2頁になり、情報提供が困難な状況だ。市長と教育長で打開策を話し合うべきだ。

陳情の審査結果

第2回定例会では陳情2件が提出され継続中の14件と併せて審査した結果、採択1件、不採択4件、継続7件、審議未了4件となりました。

《採択となった陳情》

陳情第24-13号「国分寺市立小学校給食調理業務のアウトソーシングにかかわる陳情」

《不採択となった陳情》

陳情第23-14号「議会の改革に関する陳情」
陳情第23-15号「国分寺市プレイステーション（冒険遊び場）増設に関する陳情」
陳情第24-2号「特別職職員の退職金の削減を求める陳情」
陳情第24-4号「（仮称）都立・むさしの国歴史博物館の建設誘致を求める陳情」

《継続となった陳情》

陳情第23-9号「恋ヶ窪地区に集会施設の確保を求める陳情」
陳情第24-3号「ぶんバスの収支均衡型運営を求める陳情」
陳情第24-10号「西国分寺駅から東恋ヶ窪交差点まで府中街道にぶんバス路線を求める陳情」
陳情第24-11号「大気汚染調査は従来どおり年2回実施することを求める陳情」
陳情第24-14号「市立小・中学校、市役所などの市の施設の屋上に、再生可能エネルギー設備の設置を求める陳情」
陳情第24-15号「原発問題に関する陳情」
陳情第24-16号「国分寺駅北口再開発事業の見直しを求める陳情」

《審議未了となった陳情》

陳情第23-6号「都民のための食肉処理場を整備するまで八王子食肉処理場を存続させることに関する陳情」
陳情第23-7号「災害時の緊急食料として家畜を活用する仕組みの構築に関する陳情」
陳情第24-1号「再任用職員にかかわる人件費の削減を求める陳情」
陳情第24-12号「二重投資を回避すべく新ごみ処理施設を市役所敷地内に早期建設することについての検討を求める陳情」